

商学部における特色ある学部教育の補助
「学部授業への授業特別協力者(ゲストスピーカー)依頼」 報告書

テーマ : 中小企業が展開する社会貢献活動の新規プロジェクトとは

科目名 : 演習Ⅰ・Ⅱ

担当教員: 関根 正敏

実施日: 2025年6月3日(火) 時限: 5 時限目 実施教室: F601 教室

実施趣旨 (目的)

今回は、企画経緯やビジョン、事業内容等、演者が実施してきている社会貢献プロジェクトの実態についてご講義いただくことを目的とした。本講義の内容については、「スポーツによる地域活性化」をテーマとした本演習と、地域貢献をテーマとする点や、公共的な空間をフィールドとする点において大きく重なる。この講義を通じて、学生たちは、プロジェクトを実際に推進される当事者の経営的な実践についてイメージを膨らませることができることが期待できる。

実施結果

中央大学出身の長島社長による講演では、「社会に貢献する生き方・働き方とは何か？」をメインテーマに、社会課題が山積する今の時代において、“志”を持って生きることの大切さが語られた。演者が自身の取り組みの具体例として紹介したのが、多摩地域で立ち上げられた「たまみらいラボ」である。たまみらいラボは、地域の人々や企業、学生が集い、多摩の自然や文化、歴史といった地域資源を生かしながら共創する実験の場であり、国営昭和記念公園を拠点に、地場野菜のマルシェやイベント、地域企業との協働など、さまざまな取り組みが展開されている。このたまみらいラボの活動では、多摩をモデルに「自分たちの手でまちをつくる」実践を広げ、日本各地に地域の魅力を再発見するまちを生み出していくことを目指しているという。

こうした講演を通じて、学生たちは、社会貢献に向けたプロジェクトの目的や実施内容、その実現に向けた工夫のあり方など、第一線で活躍する当事者から現場の具体像について学ぶことができた。加えて、学生自身が日本の社会課題について考えるワークも交えたことで、主体的に社会と関わる姿勢が促された。